

ペットボトル工作のきほん

ペットボトルをえらぶ

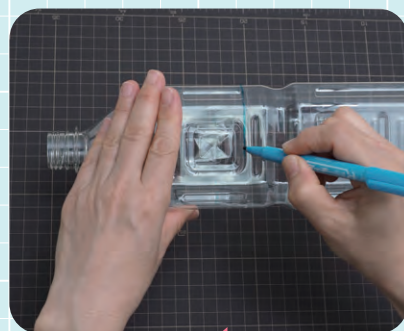


ペットボトルには、いろいろな形や大きさがああります。さわってみると、やわらかいもの、かたいものもあります。

この本ではおもに、2リットル(角型)、1.5リットル(丸型)、1リットル(丸型・角型)、500ミリリットル(丸型・角型)の空き容器を使います。実際に飼う生き物のサイズによって、自分が使いやすいものをえらびましょう。

切る・切りこみを入れる

1 みぞの部分など、切りやすい場所に油性ペンなどでしるしをつける。



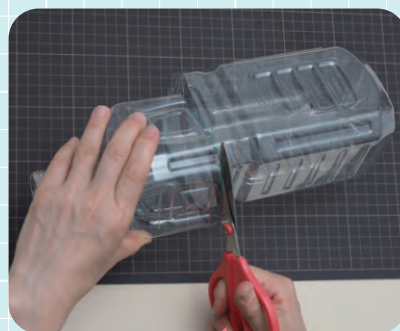
丸型はビニールテープをはって切ろう。

2 カッターで切りこみを入れる。



まっすぐ切りたいときは、定規を使うといい。

3 切りこみにはさみを入れて切る。



ふちのギザギザもきれいに切ろう。

テープをはる



テープをてきとうな長さに切り、ふちをはさむようにはる。



角のところは、はさみで切りこみを入れる。



セロハンテープをてきとうな長さに切り、内側にはってとめる。

穴をあける



手でしっかり持って、目うちで穴をあける。

注意!

カッター、はさみ、目うちを使うときは、おとなの人と必ずいっしょにやろう。ペットボトルの切り口で手を切らないように気をつけてね!

道具

はさみ



カッター



セロハンテープ



テープ



ビニールテープや養生テープなど、いろいろな種類があるよ。好きなものをえらぼう。

目うち



カッターマット



麻ひも



アルミホイル



からだの色が変わる!?

メダカ



メダカは、環境によってからだの色を変える魚だ。それを見るには、ちょっとしたじゅんぴがいる。飼育を体験しながら、体色変化の実験もぜひ、してみよう。



さがしてみよう!

- 日あたりのいい小川、用水路、ぬま、池。「道の駅」で売ることもある。
- ペット用で売っているのはヒメダカ。絶対に、川などにはなしてはいけない。
- 日本のメダカは、キタノメダカ、ミナミメダカの2種にわかれる。地域によって、異なる。



採集時期 春～夏

飼いやすさ ★☆☆

飼ってみよう!

- 赤玉土を入れて飼うと、水がよごれにくい。
- 「メダカのえさ」、ミジンコ、イトミミズなどを食べる。
- 夏の暑さに注意。すずしい場所におこう。

用意するもの作り方は、ヤゴ(21ページ)と同じ。

飼い方

くみおき水の深さ 7センチほど

赤玉土

水草 卵を産むかもしれない

水温に要注意。25度くらいがベスト!

暑い夏はすずしい場所においてね。

からだの色が変わる?

実験!

● 容器に黒い布やアルミホイルをかけ、5分以上たったら、はずす。からだの色は変わっているだろうか。どれくらいで、もとの色にもどるのかな。



暗い



あらかった色が黒っぽく変わった。

明るい



ひかりにあてたら、また明るくなった。

卵を産んだら……

観察!

● 水温が18度以上あって、半日ぐらい日があつたと産卵がはじまり、あたたかい間、毎日のように卵を産む。メスのおなかや水草を見てみよう。



夜が明ける前から昼ごろまでに、一度に20～40個ぐらい産むことが多い。



水草にくっついている卵を見つけたら、親メダカからはなそう。いっしょにしておくと、親メダカに食べられることがある。



容器の用意するもの作り方はタニシ(27ページ)と同じ

卵がついている水草は、別に用意したペットボトル水そうにつす。卵は毎日観察して、変化を見よう。